

OC-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上

<2045年の上越市のありたい姿(例)>

- ・住民主体による協働のまちづくりが展開され、その取組が多くの人に魅力として伝わり、人やモノが自然と集まっている。
- ・魅力や特色のある店舗が数多くあり、歴史や文化、人的資源を生かした商店街が形成されている。
- ・多くの市民が水族博物館を利用して楽しみながら交流するとともに、水生生物を通して自然環境を学び、保全する活動が行われている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組 (団体/市)
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策 (=方向性)

<現戦略の基本的な考え方>

○C-1-1 中心市街地の都市機能の強化と魅力の向上

- ・ 高田、直江津の中心市街地について、居住や都市機能の集積を図るとともに、多様な人々や団体が集まり、交流と連携が生まれるにぎわいのある都市拠点として整備します。

OC-1-3 都市のストックの活用促進

<2045年の上越市のありたい姿(例)>

- ・ 本市のアイデンティティである文化財建造物や町家・古民家などの、地域で受け継がれてきた歴史・歴史的資源が保存・継承され、市内外から多様な人々が集う魅力ある拠点となっている。
- ・ 地域資源を活用したまちなかの回遊性の向上や、空き店舗等の既存ストックの活用などにより賑わいが向上している。
- ・ 空き家の適正管理、利活用、予防が進む中で空き家が減少しており、市民の安心安全な生活を営むことができる環境が整っている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組 (団体/市)
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策 (=方向性)

<現戦略の基本的な考え方>

○C-1-3 都市のストックの活用促進

- ・ 町家や古民家などの歴史的建造物等を、上越らしさを生み出す貴重な資源として再評価し、様々な主体が連携し活用する取組を推進します。
- ・ 空き家問題への対応の一つとして、町家などを活用し地域活性化に取り組みます。

グループワークシート ⑩班 (C-2 地域活動の担い手確保と活性化)

OC-2-1 まちづくりへの参画とまちへの愛着醸成、C-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化

<2045年の上越市のありたい姿(例)>

- ・市民活動やボランティアを行う活動の場や、市民自らがまちづくりに携わりやすい環境が維持され、市民活動団体同士が交流・連携しながら新たな事業やまちづくりに取り組んでいる。
- ・子どもたちが主体的に学び、多様なチャレンジが生まれ、ふるさと上越への愛着と誇りが育まれている。
- ・ボランティア活動の意義や地域への貢献活動について学び、中高生のうちからまちづくりに携わっている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組 (団体/市)
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策 (=方向性)

<現戦略の基本的な考え方>

OC-2-1 まちづくりへの参画とまちへの愛着醸成

- ・ 身近な地域における課題解決に資する取組や地域づくり活動を支援し、地域の活性化に向けて行動する人材の育成を図ります。
- ・ 高校生とその親や、若年世代を中心に、市民に地域の魅力を伝え、理解や愛着を深めてもらう取組を推進します。

OC-2-2 まちづくり・地域づくり活動への支援体制の強化

- ・ 市民主体のまちづくり活動や地域課題の解決が継続・発展できるよう、地域自治体制度の活用や NPO・ボランティアセンターの機能強化を推進します。
- ・ 市民が主体となる活動の経済的な自立に向けて、金融機関による情報面、資金面での支援体制を強化し、「ソーシャルビジネス」としての展開を促進します。

OC-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進

<2045年の上越市のありたい姿(例)>

- ・市内外に開かれた広域交通網の利便性が高まり、学業や職業、観光等の選択肢が広がるとともに、地域内では公共交通や互助による輸送などにより、暮らしを支える地域交通が確保され、車を運転しない人も安心して暮らせる。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組 (団体/市)
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策 (=方向性)

<現戦略の基本的な考え方>

○C-3-1 公共交通の利便性向上と利用促進

- ・ 公共交通の沿線地域の行政、市民、地域経済界、交通事業者が一体となって、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを構築するとともに、持続可能な公共交通にするための利用促進に取り組みます。

○C-3-2 地域内の交流促進と魅力発信

<2045年の上越市のありたい姿(例)>

- ・市民が、地域にある文化・芸術、郷土の歴史・文化に関する興味関心を深め、様々な活動に関わることを通じ、地域への誇りと市民としての自負心が養われるとともに、来訪者や交流人口の増加につながっている。
- ・市民主体の協働のまちづくりが進み、市民自らが自らの言葉で魅力を発信している。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組 (団体/市)
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策 (=方向性)

<現戦略の基本的な考え方>

○C-3-2 地域内の交流促進と魅力発信

- ・ 広い市域に点在する多様な資源の価値や魅力を高め、来訪者の回遊性向上による多様な効果を市内全域に波及させます。
- ・ 協議会合同部会等の活動を通じて、分野横断的な団体等の交流の場を創出するとともに、地域活性化に向けた連携活動の推進を図ります。
- ・ 地域と地域、資源同士を結び付ける魅力的なストーリーを設定し、様々な主体・地域が連携し、その魅力を積極的に発信します。
- ・ 魅力的な産業、子育て環境、地域の歴史や文化、自然、食など、上越の特色を戦略的に発信していくことで、市民のまちへの愛着を高めるとともに、市外から関心を持ってもらうきっかけを創出します。

グループワークシート ⑬班 (C-4 交流人口の拡大による自立したまちづくり)

OC-4-1 観光コンテンツの充実と各担い手の観光マインドの底上げ、C-4-2 コンベンション誘致による多様な交流機会の拡大

<2045年の上越市のありたい姿(例)>

- ・ 来訪者が市民の日常に溶け込み、楽しむことができる観光地域。
- ・ 大規模なイベントやコンベンションが多数開催され、多くの人々が当市を訪れている。
- ・ 健康づくりや体力づくり、生きがいづくりや競技力向上などの多様なスポーツ活動を通じて、人と地域が結び付き、活力ある地域社会が実現されている。



<検討のポイント>

- 施策の状況
 - ・ KPI
 - ・ これまでの主な取組 (団体/市)
- 社会経済環境の変化等
 - ・ ICTの進展とデジタル化の加速=DX
 - ・ 地球規模での環境問題の深刻化=脱炭素
 - ・ 外国人市民の増加

<次期総合戦略の方向性の検討>

- ・ 現状とありたい姿とのギャップ
- ・ ギャップを緩和するための方策 (=方向性)

<現戦略の基本的な考え方>

OC-4-1 観光コンテンツの充実と各担い手の観光マインドの底上げ

- ・ 地域の様々な主体がそれぞれの特性をいかし、豊かな食や自然、歴史・文化資産など当市らしい観光コンテンツの充実を図るとともに、それらに関連産業の強化につなげていくために必要な仕組みづくりを分野横断的に推進します。
- ・ 市民一人ひとりが、観光に主体的に取り組む担い手となり、それぞれが立場に応じた役割を果たすことで、地域一体となった上越市らしい観光地域づくりを目指します。

OC-4-2 コンベンション誘致による多様な交流機会の拡大

- ・ 多様な交流機会の拡大や市内経済への波及効果の創出に向けて、当市の恵まれた地勢や広域交通ネットワーク、新たに設置された新潟県立武道館や上越体操場等をいかし、地域を挙げた様々な分野でのコンベンションの誘致を促進します。